

# 大野岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和5年12月1日発行 文責 校長 中尾 聡彦

## Music Festa! 墨谷夫妻の演奏が体育館と心に響きました

令和5年度は、「夢を語り、学び続ける郷学館」をスローガンに掲げスタートしました。

春には、佐賀県警察音楽隊の来校がありました。子どもたちは本物の音楽にふれ感動しました。

この度、以前より、啓成中学校にご勤務の墨谷誠一先生と親交があった縁で、ご夫妻で来校いただきました。

朝の時間には、「夢の実現～カーネギーホールでの演奏～」と題して講話をいただきました。夢を抱くことの大切さや、その夢を実現することの喜びを語っていただきました。また、夢を抱くこと、夢を実現するにも「いのち」あつてのことだから、ひとりひとりが「いのち」を大切にしてほしいと話されました。夢を実現した本人の話ですので、子どもたちの心にストレートに響いたようです。その後は、ステージごとにいろいろな楽器の紹介と演奏、合唱を通して音楽とふれあう機会をつくっていただきました。

墨谷先生からは、「南波多郷学館の子どもたちはあいさつが上手で、反応もいいですね。とても楽しい時間を過ごすことができました。また、機会があれば。」と語っていただきました。

ミュージックフェスタの後も以下の教育活動が行われました。今後も、子どもたちの貴重な学びを計画していきたいと思えます。

### ○ モデルロケットチャレンジ教室（6年生）：11/6（月）

6年生を対象に南波多町青少年育成町民会議とタイアップして実施されました。雨が降る中、ロケットが空高く打ちあがった時の子どもたちの歓声が印象的でした。

当日は、町青少年育成町民会議の方々にもたくさん参加いただきお力添えをいただきました。ありがとうございました。

### ○ 巡回バスケットボールスクール（5～8年生）：11/7（火）

3人制プロバスケットボールチーム「レオブラックスサガ」の来校に子どもたちのモチベーションは一気に上がりました。ウォーミングアップからゲームまで、心地よい汗をかきました。間近で見るプロバスケットボール選手の姿や動きに対する驚きはもちろんですが、自分の夢を重ねた子どもたちもいたのではないのでしょうか。

【ミュージックフェスタ (11/1)】



【モデルロケットチャレンジ教室 (11/6)】



【巡回バスケットスクール (11/7)】



桜の木の植樹のために準備を始めます

「あいさつ・返事日本一」の記念碑から校門までの坂道に桜の木が植えられています。春には、やわらかな日差しと桜の花が児童生徒をはじめ来校者を迎えてくれます。このような本校の桜並木ですが、月日の経過とともに傷みも激しく、中には倒木の可能性があるものもあります。児童生徒の安全にもかかわることから、桜については12月22日（終業式）に伐採し、1月以降に新たに植樹をする予定です。また、この機会に坂道の名前を児童生徒に募集し、愛着をもってもらいたいと考えています。